

令和元年8月7日  
姫路海上保安部

## 「夏休み子ども環境塾」に協力！

姫路海上保安部では姫路市林田町所在の伊勢自然の里・環境学習センターにおいて、姫路市が主催する「夏休み子ども環境塾」に協力しました。

令和元年8月4日（日）、市内の小学生低学年の児童及び保護者延べ38名に対してトータル2時間にわたり、環境保全啓発ビデオ「嫌われ者のラス」等の上映会及び「海を汚すものは何か、どうすればきれいになるのか」、クイズ形式で「環境塾」を行いました。

さて、「ラス」とは、合成洗剤に使われる界面活性剤の一つ「直鎖（ちよくさ）アルキルペンゼンスホルン酸ナトリウム」から英語で Linear Alky Benzene Sul Fonate の頭文字を取り、LAS（ラス）とし製作された15分程度のアニメです。人間が捨てた容器とコンビニのビニール袋に廃油ボールがくっ付き誕生したラスですが、動くたびに海を汚してしまうので嫌われ者という設定です。磁性細菌バクテリアによってラスは息絶えるラストに児童・保護者は感動の嵐です。そもそもラスは人間が捨てたゴミである、一度捨てたゴミは人間が拾わなければならない、このような意識が芽生えた中で巡視艇ぬのびき西川航海士補による講義が始まりました。海が汚れる原因は、ポイ捨てされたペットボトルや空き缶が海に流れついたもの、家庭で使われた生活排水が主であることを説明しました。家庭で馴染みのある「味噌汁おわん1杯」「牛乳コップ1杯」「醤油小皿1杯」「天ぷら油フライパン1杯」が海に流れてしまうと、魚が住めるようきれいな水で薄めるには、どれくらいの量の水がいるかと質問していき、天ぷら油では330杯ものお風呂の水が必要であることを知ると、「へえー、そうなんだあ」と保護者からも声が聞こえました。きれいな海を守るために、生ゴミは水切りネットを使う、残った油は新聞紙に吸わせてから捨てる、油やソースが付いた食器は拭き取ってから、洗剤をできるだけ使わないようにする、と家ではしっかり守ってください、と西川官は優しく語りかけ児童・保護者とも海をきれいにする環境保全意識が芽生えたものと思われまます。

【環境保全啓発ビデオ上映】



【西川航海士補による講義】

